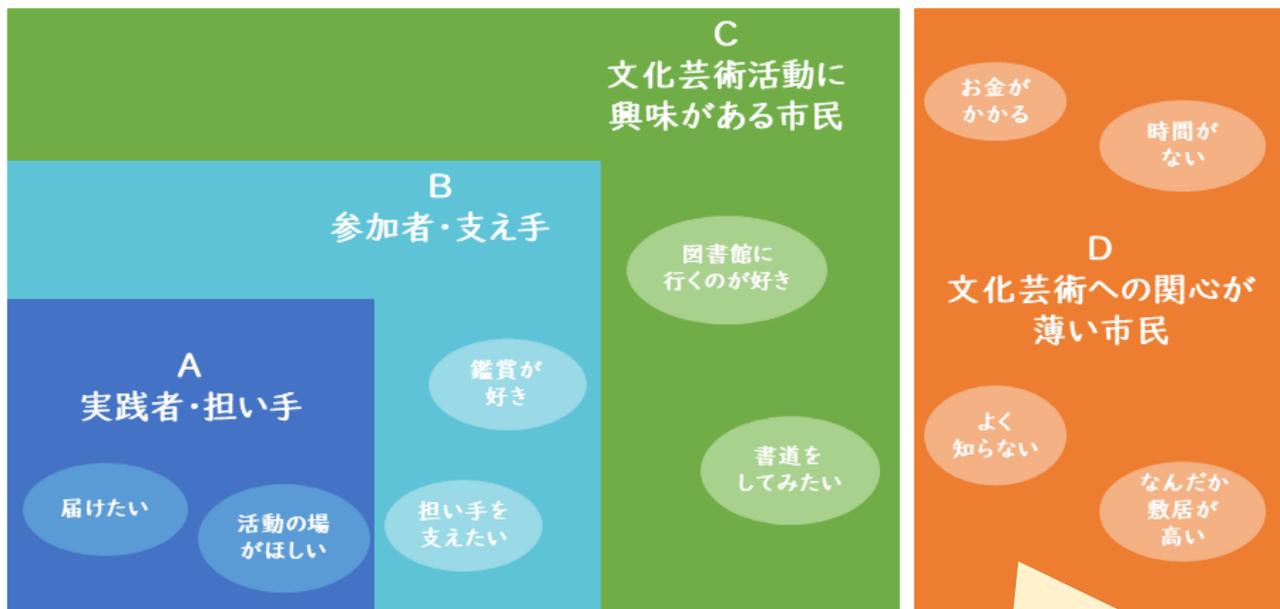


## 那珂川市文化芸術推進計画アクションプラン（R7-R10）

（目指すべき将来像）

市民一人一人が、計画の基本理念である“那珂川で〇〇しよう”を実現できるまちづくり  
→「市民一人一人」は A～Dに大きく分けられます。



（参考）過去 1 年間で文化芸術活動がなかった理由 上位  
（R4 市民アンケート調査結果より）

【鑑賞活動】

1. 仕事や他の活動で時間が取れなかったから（40.2%）
2. 興味のある催し物がなかったから（29.7%）

【実践活動】

1. 仕事や他の活動で時間が取れなかったから（49.8%）
2. 文化芸術に興味や関心がないから（30.0%）

市民が主体的に活動しやすい環境づくりのために

- 活動のための広報支援・場所の支援ならびに人材育成等を行います。
- 文化芸術活動の補助金制度について検討を行います。

「やってみよう」を叶えるために

- 体験事業など単発で気軽に参加できる事業を実施します。
- 人々の交流を活発にするための交流事業を展開します。

興味・関心を高めるために

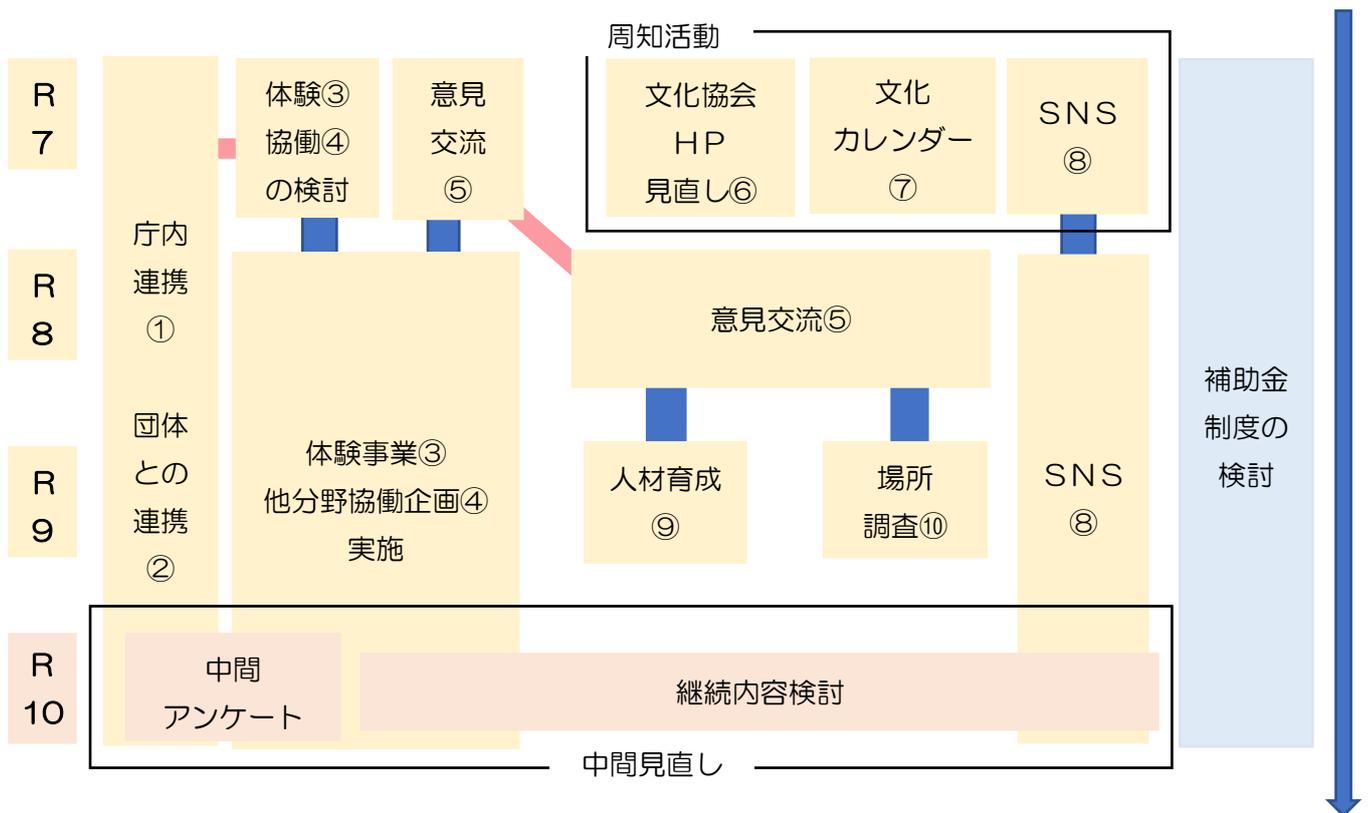
- 市内の文化芸術活動や身近な文化芸術について周知活動を行います。
- 多様な分野と文化芸術の連携を行います。

※上記 3 つの内容は、上図の A～D 内の同色の対象にそれぞれ対応するだけでなく、他の対象についても効果を発揮するものと考えます。

## 《計画前期で実施すること》

- 体験事業など単発で気軽に参加できるかたちでの事業実施をします。・・・①②③
- 多様な分野との連携を行います。・・・①②④
- 文化芸術活動の多様な視点からの周知活動を行います。・・・②⑥⑦⑧
- 活動支援や広報支援・場所の支援ならびに人材育成等を行います。・・・②⑥⑦⑩
- 人々の交流促進・団体間のつながり構築のための交流事業を展開します。・・・②⑤

## 《全体の流れ》



## R7 文化芸術について知ろう・文化芸術に参加しよう（準備）

市民が市内の文化芸術活動や身近にある文化芸術について知るための発信や、施設・学校向けの文化芸術施策の検討を行います。これにより、市民や市内で活動されている方々に市の文化芸術のことをこれまで以上に知っていただき、文化芸術活動の推進につなげます。

また、文化芸術の交流の場の設定を行います。意見交流会において市でやりたいことについて語り、様々な人とのつながりを作っていただくことで、今ある活動がより活発になることや、そこから新たな発想や文化芸術活動が生まれることも考えられ、今後の文化芸術活動の発展が期待できます。

計 画	計画書p.15 基本方針 1. ひろげる（基本施策 1） 計画書p.16～17 基本方針 2. ささえる（基本施策 1） 計画書p.18 基本方針 3. つなぐ（基本施策 1）
目 的	【広報】見せる内容・見せ方の工夫を行うことで、市民が市内の文化芸術活動や身近にある文化芸術について「知る」機会を増やします。 【企画】市民の文化芸術に関する新たな参加を実現するため、次年度以降に本格実施する企画・連携の基盤をつくります。 【交流】意見交換会の実施により、文化芸術の横のつながりを広げ、市全体での文化芸術推進を行います。
実施内容	【連携】・庁舎内の関連所属との連携（関連分野との企画検討の調整）・・・① ・中間支援団体・文化芸術団体との連携・・・② 【企画】・入口としての体験事業企画（内容検討）・・・③ ・各関連分野施設等との協働企画（内容検討）・・・④ 【交流】・意見交流会（市でやりたいこと・体験事業の実施に向けて）・・・⑤ 【広報】・文化協会の市ホームページの改良・・・⑥ ・SNSを活用した、文化芸術コラムの更新（R7～R9）・・・⑦ ・市ホームページの文化カレンダーの見せ方の工夫検討・・・⑧

### 主な実施内容

#### SNSの活用及び市ホームページの各種改良

SNSを活用した文化芸術の記事投稿・市ホームページの改良により、市内の文化芸術活動や身近な文化芸術について市民が知るきっかけを作ります。

#### 次年度に向けた各種企画等の整理・検討

事前調査をもとに、体験型やアウトリーチ等の形で施設・学校との協働事業を検討します。また、気軽に参加できる体験事業の検討を行います。

#### 文化芸術交流会の実施

文化芸術における人々のつながりをつくり、今後の体験事業や施策検討につなげるための意見交流会を実施します。

また、団体間連携・市全体の文化芸術活性化のための手段のひとつとして、補助金制度の検討を行います。

## R8 文化芸術に参加しよう・文化芸術でつながろう

令和7年度の検討内容をもとに施設・学校向けの他分野協働企画・市民向けの体験事業等の企画を実施し、様々な文化芸術にふれたり、普段文化芸術との関わりが薄い方も気軽に体験をしたりできる仕組みづくりを行います。また、文化芸術についての意見交流会を実施し、様々な分野や立場の人同士が意見交換を行うことができる場をつくるとともに、人材育成や活動場所等の悩みについて意見を募り、次年度以降の実施内容につなげます。

計 画	計画書p.15 基本方針 1. ひろげる（基本施策 1） 計画書p.16～17 基本方針 2. ささえる（基本施策 1） 計画書p.19 基本方針 3. つなぐ （基本施策 2）
目 的	【企画】市民が実際に文化芸術に「参加」する機会を増やします。 【連携】様々な視点で文化芸術を広げ支えるため、関連分野との連携を行います。 【交流】同じ分野や異なる分野の人々との交流の場をつくり、新たな繋がりを生み出すとともに、人材育成等の課題解決につなげます。
実施内容	【連携】・庁舎内の関連所属との連携（関連分野との企画検討の調整）・・・① ・中間支援団体・文化芸術団体との連携・・・② 【企画】・入口としての体験事業企画・・・③ ・各関連分野との協働企画の実施（体験・アウトリーチ・施設利用等）・・・④ 【交流】・意見交流会（活動の場・人材育成等についての悩みや課題）・・・⑤ 【広報】・SNSの更新（継続）・・・⑧

### 主な活動

#### 関連分野協働企画・体験事業の実施

社会福祉施設・学校・保育等施設と協働での企画や市民向け体験事業の実施を行います。各企画終了後にはアンケートを取り、今後の実施内容に反映させます。

#### 文化芸術交流会の実施

文化芸術における市民や活動者同士のつながりを作るとともに、人材育成や活動場所等の課題解決の糸口を探る目的で、文化芸術活動を行っている人や団体等を対象とした意見交流会を実施し次年度以降につなげます。

## R9 文化芸術を育てよう・文化芸術を広げよう（R8 内容は継続）

体験事業で様々な文化芸術にふれたり、文化芸術補助金を活用して他の分野と連携した文化芸術活動などに挑戦したりすることができます。

今後の文化芸術の担い手や文化芸術事業を支えるボランティア等の育成講座を展開します。現在の文化施設の他に文化芸術活動の場として活用可能な場所を調査します。

計 画	計画書 p.16～17 基本方針 2. ささえる（基本施策 1） 計画書 p.19 基本方針 3. つなぐ（基本施策 2）														
目 的	【育成】 今後文化芸術を先導していく担い手の育成につなげる。 文化芸術事業を支えるボランティアなどの育成につなげる。 【開拓】 文化芸術の活動の場として利用可能な場所を調査し、市民の活動の幅を広げる。														
実施内容	<table border="0"> <tr> <td>【育成】・育成講座の実施</td> <td>・・・⑨</td> </tr> <tr> <td>【開拓】・利用可能な場所の調査</td> <td>・・・⑩</td> </tr> <tr> <td>【企画】・入口としての体験事業企画（継続）</td> <td>・・・③</td> </tr> <tr> <td>・各関連分野との協働企画の実施（継続）</td> <td>・・・④</td> </tr> <tr> <td>【広報】・SNS の更新（継続）</td> <td>・・・⑧</td> </tr> <tr> <td>【連携】・庁舎内の関連所属との連携（継続）</td> <td>・・・①</td> </tr> <tr> <td>・中間支援団体・文化芸術団体との連携（継続）</td> <td>・・・②</td> </tr> </table>	【育成】・育成講座の実施	・・・⑨	【開拓】・利用可能な場所の調査	・・・⑩	【企画】・入口としての体験事業企画（継続）	・・・③	・各関連分野との協働企画の実施（継続）	・・・④	【広報】・SNS の更新（継続）	・・・⑧	【連携】・庁舎内の関連所属との連携（継続）	・・・①	・中間支援団体・文化芸術団体との連携（継続）	・・・②
【育成】・育成講座の実施	・・・⑨														
【開拓】・利用可能な場所の調査	・・・⑩														
【企画】・入口としての体験事業企画（継続）	・・・③														
・各関連分野との協働企画の実施（継続）	・・・④														
【広報】・SNS の更新（継続）	・・・⑧														
【連携】・庁舎内の関連所属との連携（継続）	・・・①														
・中間支援団体・文化芸術団体との連携（継続）	・・・②														

### 主な実施内容

#### 育成講座の実施

令和 8 年度の交流会での意見を踏まえ、今後の文化芸術の担い手や、文化芸術事業を支える役割となる一般・学生ボランティア等の育成につなげるための育成講座を実施する（既存事業との連携も想定）。

内容案：ファシリテーター育成講座、舞台芸術の演出等を学ぶワークショップ、インターン等

既存事業：ミリカルリーダー育成講座、ミリカサポーター（ミリカローデン那珂川）

#### 利用可能な場所の調査

市民の活動の場を広げていくため、現在ある活動場所だけでなく、今後文化芸術の活動の場として利用可能な場所がないかどうかを調査する。民間のコワーキングスペースのような場所がないかどうかの調査と利用の調整を想定。

## R10 【中間見直し・継続事業の検討】

令和 11 年度からの計画の後半 5 ヶ年に向けて、前半の内容にて中間見直しを行い、後年度の計画推進の方向性を定めます。

目 的	後年度以降に向けた課題の抽出・方向性の設定を行う。ここまで実施した各事業について、市民の反応や成果・課題等を踏まえ、後年度の実施のあり方を検討し、事業方針を定める。
実施内容	<p>【中間見直し】・これまでの実施内容の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間アンケート（仮）→文化施設利用者・企画参加施設や団体等を想定</li> <li>・ 事業の継続・調整 →体験事業等の市民の反応や成果をもとに、 後年度の実施内容を検討する。</li> </ul> <p>【企画】・各関連分野との協働企画の実施（継続） . . . ⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入口としての体験事業企画（継続） . . . ⑨</li> </ul> <p>【広報】・SNS の更新（継続） . . . ⑬</p>